

第 2 次宝塚市地球温暖化対策実行計画の改定について

1 改定の趣旨

令和 3 年（2021 年）7 月、第 2 次宝塚市地球温暖化対策実行計画を策定し、2030 年度の温室効果ガス排出量の削減目標を、1990 年比 30%削減（2013 年度比 41%削減）と決めました。

一方、国は、令和 3 年（2021 年）10 月に地球温暖化対策計画を改定し、2030 年度の温室効果ガス排出量の削減目標を 2013 年度比で 46%とすることを正式に決定し、合わせて、部門別の削減目標等の算出根拠も明らかにしました。

国の削減目標が大幅に引き上げられ、本市の削減目標を上回っていることから、本市計画の削減目標を見直すこととします。

2 現行目標及び改定目標案等

新ポテンシャルは、令和 3 年（2021 年）10 月 22 日閣議決定の「地球温暖化対策計画」を参照し、国の各部門の削減割合を宝塚市の排出量に当てはめて推計し、エネルギー転換部門（特に電力）の削減や宝塚市の特性を加味して算出しています。

2030 年度の温室効果ガス排出量の新たな目標は、部門ごとに新たな温室効果ガス排出量の目標を設定し、それらを合わせると 400 千 t-CO₂ になります。これは、1990 年度比 40%削減、2013 年度比 50%に当たります。

新たな 2030 ポテンシャル及び目標算出においては、2030 年度の二酸化炭素排出係数を、改定された国計画に合わせて 0.37 kg-CO₂/kWh から 0.25 kg-CO₂/kWh に見直したため、CO₂ 排出に占める電力消費割合の大きい民生家庭・業務部門における排出削減量が大きくなっています。

単位：千 t-CO₂

部門 \ 年度	1990 実績	2013 実績	2018 実績	2030 BaU	2030 ポテンシャル		2030年 目標	
					旧	新	旧	新
産業	192	85	58	69	49	39	51	47
民生 家庭	175	329	210	202	139	76	163	124
民生 業務	125	170	143	154	75	60	104	91
運輸	142	166	151	138	115	103	117	116
廃棄物	26	38	17	16	28	17	28	16
その他ガス	11	7	7	7	6	5	7	6
総排出量	670	795	585	586	412	300	469	400
1990年度比増減	-	19%	▲13%	▲13%	▲39%	▲55%	▲30%	▲40%
2013年度比増減	-	-	26%	26%	▲48%	▲62%	▲41%	▲50%

計画策定スケジュール（令和4年3月現在）

年度	令和3年度（2021年度）			令和4年度（2022年度）						
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
環境審議会			● 第4回 会議 3/23		● 第1回		パブリック コメント	● 第2回	答 申	策定 予定